



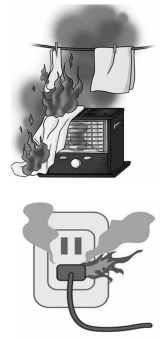
~火事・救急・救助は119番~

年末年始特別警戒実施します

今年も残すところわずかとなりました。佐井消防分署では期間中、年末年始特別警戒パトロールを実施します。これからの季節は、より一層空気が乾燥し寒さも厳しく火気を使用する機会も多くなります。また、年末年始はいつにも増して飲酒の機会が増え、火気を取り扱う上での不注意や不始末による火災が多く発生しています。無事に新年を迎えられるよう、いつも以上に火の取り扱いには注意しましょう。また、次のチェック表を参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

【火の用心チェック表】

- ストープの近くに燃えやすいものを置かない、干さない
 - ストープの燃料タンクに給油する際は漏れないようにし、漏れたらしっかりと拭き取る
 - 火を使用し調理する時はその場から離れない、離れる時は必ず火を消す
 - 出かける時、就寝前には必ず火の元を確認する
 - コンセントプラグの掃除をする。(※トラッキング現象防止)
 - ゴミは指定日に出すようにして、家の周りに燃えやすいものを置かない(放火防止)
- ※トラッキング現象とは、コンセントとプラグの隙間にホコリがたまり、そのホコリが湿気を帯びることによってプラグが火花を散らしながら放電する現象です。



今年度に入り、これらの内容について何度も「広報さい」に掲載していますが、火災は一人ひとりの心がけで未然に防ぐことができます。火災から尊い命、大切な財産を守るためにも、常日頃から火災予防に対する意識を高め、火災の発生を未然に防ぎましょう。

みなさんの家の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？

古くなった住宅用火災警報器(以下、住警器とする。)は電子部品の老朽化や電池切れが原因により、作動しなくなることがあります。設置する場所は基本的に「寝室」となっていますが、一階のほかに二階の部屋も寝室として使用するご家庭には「二階の寝室」と「階段(踊り場)」に設置しなければなりません。

青森県内において火災が多く発生していますが、その際に設置していた住警器が作動し住民が避難して命が助かった例があります。日頃のお手入れはもちろんですが、年末年始を迎えるにあたり大掃除を実施する際には、再度確認・点検を忘れずをお願いします。

住宅用火災警報器を設置しましょう!



冬期は救急出場件数が増加します

冬期に救急要請が増加する原因としては、インフルエンザの流行や、積雪・路面凍結による転倒などが考えられます。そのほかにこの時期特有の事故として、忘年会や新年会などの飲み会における急性アルコール中毒や、子どもや高齢者が餅を喉につまらせたことによる窒息事故などがあります。これらの症状や事故などは、みなさん一人ひとりの心がけで未然に防ぐことができます。いつも以上に注意しましょう。



消防からのお願い

佐井村内の道路は降雪・積雪により大変狭くなります。また、コロナ禍ではありますが、年末年始は車で帰省される人が増えることも予想されます。そのことから、路上駐車が増えると緊急車両走行の妨げになりますので、みなさんのご理解ご協力をお願いします。

